
後援・協賛 趣意書

会期：平成30年9月1日（土）～2日（日）

会場：北海道科学大学

会長：昆 恵介（北海道科学大学 保健医療学部 義肢装具学科 ）

第40回臨床歩行分析研究会定例会

平成29年4月吉日

第40回臨床歩行分析研究会定例会開催趣意書

第40回臨床歩行分析研究会定例会大会長
北海道科学大学保健医療学部
昆 恵介



臨床歩行分析研究会は、臨床に於る歩行動作の技術の進展と知識の普及等に関する事業を行い、学術文化と障害者の福祉の向上に寄与することを目的として活動している学術団体です。医師、義肢装具士、エンジニア、理学療法士、作業療法士など多職種により構成されています。

本学会の前身はバイオメカニズム学会であり、分科会として40年前に定例会を発足した研究同好会で、エンジニア、理学療法、義肢装具・福祉機器などに関する様々な職種による本邦唯一の集まりとして活動しておりました。その後、2016年には臨床歩行分析研究会誌を出版し、学術団体として、一步を踏み出しました。

2017年月現在の会員数はおよそ450名で、その内訳は医師、義肢装具士、理学療法士、作業療法士、エンジニア、学生、その他であり、活発な活動を行っています。

本研究会の活動は、定例会の開催、研修セミナーの開催、学術誌の刊行などがありますが、年一回開催する定例会は最も重要な活動です。本研究会の学術大会は、一般的な医学学術集会と同様、招待講演、シンポジウム、一般演題などからなりますが、期間中最も多く参加者が集まる商業展示は、機器の開発・製作にかかわる多くの企業や研究機関、団体にご参加いただき、最新の機器を体感できる、重要な情報交換の場になります。

北海道札幌市での定例会は、10年前の2008年に現北海道科学大学の野坂利也教授が第30回大会を主催されて以来です。このころは、北海道工業大学工学部であり、その後、大学名が北海道工業大学から北海道科学大学に校名変更されています。

したがって北海道科学大学での開催は初めての開催となります。わが国のリハビリテーション医学、歩行分析分野の発展に尽くされ、学術大会を成功させてきた諸先輩方を思うと、重責を感じるとともに、第40回の定例会を開催できることは誇りと喜びを感じております。

本学会学術大会開催にあたっては、本学会の多職種連携の基本理念を尊重し、全国の多職種の方にご参加いただき、今まで以上に学際的な学術大会を実現すべく進めております。皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

1. 会 議 の 名 称： 第40回臨床歩行分析研究会定例会
2. 大 会 長： 昆 恵介（北海道科学大学 保健医療学部 義肢装具学科 ）
3. 開 催 期 間： 平成30年9月1日（土）～ 2日（日）
4. 開 催 会 場： 北海道科学大学
〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田七条15丁目 4－1
TEL： 011-688-2240
5. 開 催 テ ー マ： 「他職種連携による新しい治療技術と歩行分析」
6. 参 加 予 定 人 数： 250名
7. 主 な プ ロ グ ラ ム： 基調講演、教育講演、特別講演、一般口演、ポスターセッション
8. ホ ー ム ペ ー ジ： <http://www1.hus.ac.jp/~gisisougu/gait2018/gait.html>
9. 事 務 局： (1)大会事務局
北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科
〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
事務局長 春名弘一
E-mail： gait40analysis@gmail.com
TEL： 011-688-2204 FAX： 011-688-2270